

# 公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 Asia 留学生奨学制度 奨学生募集要項

2012年10月期 私費留学奨学生 (奨学支援期間:2012年10月～2014年9月)

2013年 4月期 私費留学奨学生 (奨学支援期間:2013年 4月～2015年3月)

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

**募集期間:** 2012年9月5日(水)～2012年9月10日(月)必着

※ただし、2012年10月入学新1年生に限り9月25日(火)まで受け付けます。

このたび公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、私費留学奨学生の「秋募集」を行います。応募資格者は下記表の「秋募集」が対象者です。

2013年4月入学の新入生及び新編入生につきましては、2013年1月に「春募集」として別途募集を行うため、「秋募集」の対象としておりません。ご注意ください。

募集時期	募集対象(応募資格者)		募集	奨学金支給開始時期	当財団での呼称
秋募集	A	秋入学の在學生及び新入生 (BとC以外の學生全員)	2012年9月	2012年10月	2012年10月期 私費留学奨学生
	B	4月入学の在學生		2013年4月	2013年4月期 私費留学奨学生
春募集	C	2013年4月入学の 新入生及び新編入生	2013年1月	2013年4月	

- ・ 「2013年4月期奨学生」に応募される学生は、本募集要項中「2012年10月」の表記を「2013年4月」と置き換えてお読みください。(読み換え部分には二重線を引いております。)

## I. 募集対象

	募集対象者
2012年10月期生	「秋入学」の在學生及び新入生
2013年4月期生	「4月入学」の在學生 (2013年4月入学の新1年生・新編入生除く)

## II. 応募資格 (2012年10月現在) 再応募可

バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムから来日し、文部科学省所轄大学の学部又は大学院に在籍する当該国の国籍を有する私費留学生で下記の条件を満たす者(ただし、日本国籍を有する者、短期大学生及び研究生を除く。)

- ① 国際理解と親善に関心を持ち、交流会に出席できる者  
(交流会は年6回主に東京で開催。交通費支給)
- ② 学習奨励金等の名目の如何にかかわらず他の奨学支援団体等から奨学金に類する金品を受給していない者(学習奨励金、研究助成金などを受給している場合は事前に事務局に問い合わせること。貸与奨学金については応募可)
- ③ 在留資格「留学:college student」を有する者
- ④ 日本で就業している親がいない者
- ⑤ 「博士」の学位を取得していない者
- ⑥ 現在在籍している課程の修学期間が 2012年10月より1年以上ある者
- ⑦ 勉学・研究に支障のない日本語能力を有する者
- ⑧ 当財団の奨学生を終了後、SATOMとして交流活動に積極的に協力できる者  
(SATOM(サトム)とは佐藤陽財団の卒業生のことです)

### Ⅲ. 奨学金

1. 支給額 学部学生 月額 120,000 円  
大学院生 月額 180,000 円 (この他に学会出席補助金制度あり)

2. 支給期間 2012年10月期生 2012年10月から2014年9月までの2年間  
2013年4月期生 2013年4月から2015年3月までの2年間

※ただし、採用時の課程に在籍する期間を限度とする。

2年以内に採用時在籍課程を卒業又は修了した場合(学部から修士、修士から博士へ進学など)は、その時点で支給終了となる。(例:学部4年生、修士2年生の場合、支給期間は1年間となる。)

※博士課程1年採用者については、博士課程2年時点で指導教員の報告書をもとに選考委員会による判定を行い、正規の課程期間内に博士号が取得できると見込まれる場合は、奨学金支給期間を1年間延長できる。

3. 支給方法 支給は2ヶ月に一度、2ヶ月分を本人名義の口座に振り込む。

### Ⅳ. 募集人数

- 2012年10月期生: 約 3名  
2013年4月期生: 約 8名

### Ⅴ. 募集期間

2012年9月5日(水)～2012年9月11日(火) 必着

※ただし、2012年10月入学の新1年生に限り9月25日(火)まで受け付ける。

### Ⅵ. 応募書類

○:必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
奨学生申込書	別紙①	○	○	○	日本語 自筆
履歴書 1・2	別紙②	○	○	○	日本語 自筆
推薦状	別紙③	○	○	○	英語の場合は日本語訳を添付 ※指導教員により厳封のこと
評価書	別紙④	—	—	○	
エッセイ	別紙⑤	○	○	○	日本語 自筆 (所定用紙 A4 2枚)
在学証明書		○	○	○	新入・新編入の場合は「合格証明書」もしくは「合格通知書」(コピー可)
学業成績書		○	○	○	資料Ⅰ参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照 1枚
研究実績	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料Ⅱ参照

※ 別紙②「履歴書 1」の「語学能力(日本語)」の欄は選考において重視する。

※ 別紙③「推薦状」は、指導教員記入のこと。ただし、指導教員が決まっていない学部生に限り、日本語学校の先生や身元保証人、寮長などが記入することを認める。

※ 代筆不可。ひらがな可。

※ 応募書類は返却しない。

## VII. 応募方法

2012年10月に在籍する大学の留学生課を窓口として、「VI. 応募書類」を募集期間内に当財団宛に郵送のこと。書類不備及び応募者個人からの直接郵送の場合は無効とする。

※新1年生・新編入生の応募に関しては、在籍学校を窓口とすることも可とする。

### **【留学生課からの応募方法について】**

下記の点に注意し、留学生課を窓口として応募書類を一括して財団事務局宛に提出ください。

1. 長形3号封筒（留学生課住所・担当者名を明記の上、80円切手貼付）…………… 2通  
財団から留学生課へ受付番号等を一括送付する際に使用する。大学毎に2通同封すること。
2. 応募書類（厳封書類除く）の中にA4サイズ以外の書類がある場合はA4サイズにコピーしたものを、原本とともに同封すること。  
両面コピー不可、ホチキス留め不可。
3. 厳封書類は、応募書類の一番上にクリップで添付すること。  
書類間に厳封書類を挟まないこと。

### **【応募書類送付先】**

〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-7-1  
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局

## VIII. 選考及び結果発表

1次選考 書面選考

- ・ 1次選考の結果は、10月11日(木)に留学生課宛に発送する。

2次選考 面接 10月27日(土)または10月28日(日)に東京にて実施予定。(交通費支給)

- ・ 面接は日本語で行う。
- ・ 2次選考の要領は1次選考結果通知後、対象者の留学生課宛に郵送する。
- ・ 2次選考の結果は、10月30日(火)までに留学生課宛に発送する。

※選考の結果は、1次選考(10月11日発表)、2次選考(10月30日発表)ともに、発表日の午前10時より財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)に合格者の受付番号を掲載するが、郵送にて通知する「選考結果」で最終確認をすること。なお、応募者は受付番号を事前に留学生課に確認すること。

※合格した学生は、11月17日(土)に行われる理事会の承認、認証式の出席をもって、正式に当財団の奨学生として認定する。11月17日の認証式の出席が必須となる。

## **IX. 留意事項**

奨学生が下記の各号のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがある。  
(「奨学生規則」を当財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)で事前に確認してください)

- ① 交流会を無断で欠席した場合
- ② 「生活報告書」を期限内に提出しなかった場合
- ③ 日本を年間 45 日以上離れた場合(研究目的の場合は 90 日まで)
- ④ 病気その他の理由により修学または研究を継続できない場合
- ⑤ 指導教員から修学または研究の継続が不適当とされた場合
- ⑥ 学業成績が不良の場合
- ⑦ 休学・転学の場合(出産、育児による休学を除く)
- ⑧ 法律や社会秩序に反する行為を行った場合
- ⑨ 財団の名誉を傷つける行為をした場合

### **【個人情報の保護について】**

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし下記の場合は、関係者に対して個人情報が開示されることがありますのでご了承ください。

- ① 選考のため、選考委員へ応募書類を開示する場合
- ② 重複支給の確認のため、大学担当者及び奨学団体に「合格者一覧」を提供する場合

### **【問い合わせ先】**

〒153-0064

東京都目黒区下目黒 1-7-1

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局

電話: 03-5487-2775

E-MAIL: [sisf2020@pn.sato.co.jp](mailto:sisf2020@pn.sato.co.jp)

# Asia 留学生奨学制度 奨学生申込書

財団使用欄

受付日: \_\_\_\_\_

番 号: \_\_\_\_\_

奨学金 受給開始時期	対象時期に○をつけてください。	
	①2012年10月(秋入学対象)	②2013年4月(春入学対象)

氏名	カタカナ		当財団奨学生経験 有・無
	パスポート 記載の英文		性別 男・女
	母国語 での表記		年齢 歳
生年月日	19          年          月          日		
E-mail Address	@		
電話番号	(          )          -	国 籍	
現住所	〒		最寄り駅 線 駅
*在籍大学 又は 在籍大学院 (2012年10月時点)	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 大学院		(2012年10月時の学年) <input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士
	<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 研究科		(          ) 年
	<input type="checkbox"/> 学科 <input type="checkbox"/> 専攻		入学年月          年          月
	指導教員名		今までの日本在留年数 (延べ)          年
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名(上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):	電話 (          )          -	
	担当者名	FAX (          )          -	
	住所 〒	研究実績(大学院生のみ) 有          ・          無	

申込日 2012年          月          日

## 【受付番号票】 (大学名、氏名を記入のこと)

申請大学名	氏 名 (カタカナ)
大学	様

Asia 留学生奨学制度奨学生申込書を \_\_\_\_\_ 番で受け付けました。

受付年月日 \_\_\_\_\_

## 履歴書-1

氏名(カタカナ):

学 歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	卒業 中退	奨学金 受給有無
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業 中退	有・無
	2	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	3	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	4	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
職 歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
資格・免許・受賞歴			語学能力（日本語・英語等）					
奨学金および研究助成金等の受給実績（奨学金および研究助成金等の名称・受給期間・受給月額）								
国際交流、社会貢献活動の経験（具体的に書くこと）								

## 【記入の注意点】

- ・ 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4 サイズ)にて記入し、あわせて提出すること。
- ・ 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること。

## 履歴書-2

氏名(カタカナ):

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名		
	配偶者						
	子供						
	父						
	母						
	兄弟姉妹						
経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無		年額	円	
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額		
		名称	( 年 月 ~ 年 月 ) <th>月額</th> <th>円</th>		月額	円	
		名称	( 年 月 ~ 年 月 ) <th>月額</th> <th>円</th>		月額	円	
		アルバイト、その他給与 ( 内容: )				月額	円
	配偶者の収入	勤務先 ( ) 仕事の内容 ( )				月額	円
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額		
		名称	( 年 月 ~ 年 月 ) <th>月額</th> <th>円</th>		月額	円	
		名称	( 年 月 ~ 年 月 ) <th>月額</th> <th>円</th>		月額	円	
	住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他 ( )				月額	円
授業料	<input type="checkbox"/> 全額免除	( 年 月 ~ 年 月 )	(免除額 )	自己負担授業料 年額 円			
	<input type="checkbox"/> 一部免除	( 年 月 ~ 年 月 )	(免除額 )				
	<input type="checkbox"/> 全額自己負担						
併願状況 (奨学金に類するもの全て 記入してください)	申請先				結果発表月日		
					月	日 発表	
					月	日 発表	
				月	日 発表		

## 【記入の注意点】

- ・ 家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること。

## 履歴書-1

## 記入例

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

学歴	No.	期間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	卒業 中退	奨学金 受給有無
	1	1999年 4月から 2002年 3月まで	〇〇 高校		タイ・バンコク市		卒業 中退	有・無
	2	2002年 4月から 2004年 3月まで	〇〇 大学	学・修・博	タイ・バンコク市	工学	卒業 中退	有・無
	3	2006年 4月から 2008年 3月まで	〇〇 日本語学校	学・修・博	日本・東京		卒業 中退	有・無
	4	2008年 4月から 2012年 3月まで	〇〇 大学	学・修・博	日本・東京	工学	卒業 中退	有・無
	5	2012年 4月から 2014年 3月まで	〇〇 大学大学院	学・修・博	日本・東京	工学	卒業 中退	有・無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博			卒業 中退	有・無
職歴	期間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容		在籍・休職・退職		
	2004年 4月から 2006年 1月まで	株式会社〇〇	タイ・バンコク市	自動車の整備		在籍・休職・退職		
	年 月から 年 月まで					在籍・休職・退職		
	年 月から 年 月まで					在籍・休職・退職		
資格・免許・受賞歴				語学能力 (日本語・英語等)				
普通自動車免許 〇〇主催△△コンテスト優勝 (2012年3月)				日本語検定一級 (2007年7月) TOEIC 900点 (2011年6月)				
奨学金および研究助成金等の受給実績 (奨学金および研究助成金等の名称・受給期間・受給月額)								
〇〇奨学金 2010年4月~2011年3月 月額 8万円								
〇〇奨学金 2011年4月~2012年3月 月額 10万円								
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと)								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 20px auto;">           奨学金および研究助成金等の受給実績を直近4つまで記入してください。         </div>								

## 【記入の注意点】

- ・ 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4サイズ)にて記入し、あわせて提出すること。
- ・ 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること。

## 履歴書-2

## 記入例

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	
	配偶者 サトウ ミチコ	タイ	30	日本・東京	〇〇大学大学院工学研究科修士1年	
	子供 サトウ アイ	タイ	1	日本・東京		
	父 サトウ ハジメ	タイ	55	タイ・バンコク市	〇〇会社勤務	
	母 サトウ ハナコ	タイ		死亡		
	兄弟姉妹 兄 サトウ ジロウ	タイ	32	タイ・バンコク市	〇〇大学講師	
	伯父 サトウ サプロウ	タイ	58	日本・大阪	〇〇会社勤務	
経済状況	収入	仕送り	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		年額	円
		受給中の奨学金	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	受給期間	受給金額	
		名称	( 年 月 ~ 年 月 )		月額	円
		名称	( 年 月 ~ 年 月 )		月額	円
		アルバイト、その他給与 (内容: 新聞配達)			月額	50,000円
	配偶者の収入	勤務先 ( サトウスーパー ) 仕事の内容 ( レジ )			月額	50,000円
		受給中の奨学金	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	受給期間	受給金額	
		名称 〇〇奨学財団	(2012年 4月 ~ 2013年 3月)		月額	100,000円
		名称	( 年 月 ~ 年 月 )		月額	円
	住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他 ( )			月額	40,000円
授業料	<input type="checkbox"/> 全額免除	( 年 月 ~ 年 月 )	(免除額 )	自己負担授業料 年額 300,000円		
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部免除	(2012年 4月 ~ 2013年 3月)	(免除額 500,000)			
	<input type="checkbox"/> 全額自己負担					
併願状況 (奨学金に類するもの全て記入してください)	申請先			結果発表月日		
	〇〇奨学財団			10月	30日	発表
	文部科学省奨学金			未定	月	日 発表
				月	日	発表

## 【記入の注意点】

- ・ 家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)

全額授業料が年間800,000円で、  
免除額が年額500,000円の場合の記入例







## 学業成績書の提出について

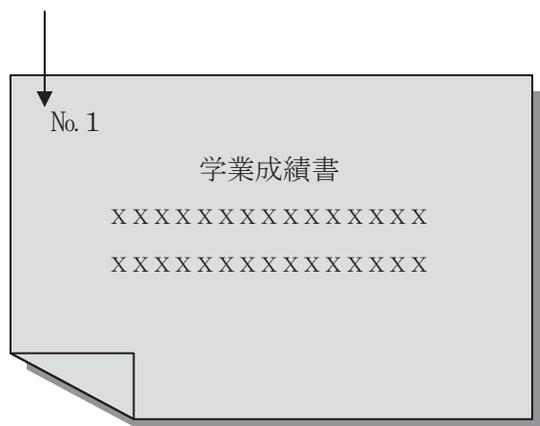
- 下記項目の通りに成績書を提出すること
- ・ 下表に該当する期間の学業成績書を提出すること
  - ・ 在籍校の学業成績書は 2012 年 6 月以降の発行日とし、直近の学業成績書のオリジナルを提出すること
  - ・ 母国の学業成績書など取り寄せなければならない場合のみコピーでも可とする  
※母国の学業成績書については必ず和訳または英訳を添付すること

奨学金受給開始時の 在籍課程および経歴		提出学業成績書
学部生※	1～2 年生 (秋入学 3 年生含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本留学試験に関する証明書(コピー可)と高校最終学年の学業成績書 (日本留学試験に関する証明書がない場合は、高校1年生からの学業成績書〔日本語学校含む〕)</li> </ul>
	3 年生以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在籍している学校の直近まですべての学業成績書</li> </ul>
大学院生(修士・博士)※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学部1年生から直近まですべての学業成績書</li> </ul>

※但し、高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、高等専門学校もしくは専門学校の学業成績書も提出すること。

- 提出する学業成績書が、『別紙②履歴書 1:学歴欄』に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、下記の記入例を参考に学業成績書にNo.を記入して提出すること。

【記入例】『別紙②履歴書 1:学歴欄』に該当するNo.を左上に記載



## 研究計画書及び研究実績の記載内容について

### □研究計画書

- ・ 研究要旨を含むこと
- ・ A4 サイズ1枚にまとめること
- ・ 日本語 ワードプロ可 図表使用可
- ・ 専攻、研究テーマについて、一般の人にも分かるようにやさしく書くこと

### □研究実績

- ・ 日本語 ワードプロ可 A4 サイズ
- ・ 何件書いてもよいが、下記 3 項目は必ず書くこと

#### ①公刊論文（レフリー付論文のみ）

論文題名／著者（全員）／ジャーナル名／出版社／  
発表年／巻／ページ（最初と最後のページ）

#### ②学術発表（国内）

論文題名／発表者（全員）／学会名／開催場所／  
ポスター発表 or 口頭発表／発表年月

#### ③学術発表（海外）

論文題名／発表者（全員）／学会名／開催場所／  
ポスター発表 or 口頭発表／発表年月

- ・ 修士新 1 年生で実績が無い場合は、学部課程の卒論の内容でも可とします。  
それでも実績が無い場合は、奨学生申込書（別紙①）の右下の「研究実績（大学院生の  
み）」の欄の「無」に○を必ずつけてください。